



大事なクラシックパソコンを現役として

お楽しみ頂く為の

変換器マニュアル!

ご注意!

1 安全にご利用頂くため、ご使用前には必ずお読みください

本機はマウス・キーボード・ジョイスティックなどの入力機器の接続を意図しています。本機裏面に記載のある対応機器以外は接続しないで下さい。

本機はパソコン以外の電子機器へ接続しないで下さい。電圧の相違などにより本機だけではなく、マウス・キーボード・ジョイスティックなど入力機器の故障の原因となる恐れがあります。

本機を絶対に分解しないで下さい。故障だけでなく、感電やお怪我の原因となります。

コネクタを接続する際には、髪の毛の巻き込みや指の挟み込みにも充分ご注意ください。

本機を決して口にしないで下さい。食べることはできません。万が一、本機を食べてしまった場合には、速やかに医師にご相談ください。

小さいお子様の手の届かない所でご使用ください。小さいお子様の側でご使用の際には、コネクタや本体などでお怪我をされないよう充分にご注意下さい。

水没・高温・結露には充分ご注意ください。故障や本機の寿命を縮める原因となります。未永くご使用なされるため、なるべく涼しいところでご使用ください。

本機から発火・発煙・異臭がする場合には、本機の使用を即刻中止してください。

クラシックパソコンでご使用頂くという性質上、本機使用時のパソコン本体の故障については本当に申し訳ないのですが責任を負わないという事にさせて頂いております。本機をパソコンに接続したらパソコンが故障したという場合には、そのタイミングで他が故障している事が考えられますので、当委員会の掲示板と一緒に解決をめざしましょう。

本機の接続・着脱の際にはコネクタの先をしっかりと持って優しくお取り扱い下さい。ケーブルは絶対に引っ張らないで下さい。足を引っかけてケーブルをひっこぬいてしまいそうな場所でのご使用はなるべくおやめください。本機は腫れ物にさわることのご使用頂くのがベストです。

4 2013年12月現在テスト済み機種

PC-8801 対応変換器 (F M 系機種にて多分動作可能) テスト機種
PC-8801FH PC-8801FE2

PC-9801 対応変換器 (全機種にて多分動作可能) テスト機種
PC-9801VMO PC-9801RA51 PC-9821Xe10 PC-9821RA43 PC-9821NA7
PC-9821NA12 PC-9821NA15 その他キーボードセレクター

X68000 対応変換器 (全機種にて多分動作可能) テスト機種
X68000SUPERHD X68000XV1

2 動作しない場合

本機はできるだけ多くのクラシックパソコンで動作確認が出来るよう努力をしていますが、残念ながら全ての機種でテストを行っていません。そのため中には動かない機種があると思います。

できる限りデータを集めて完全対応を目指しておりますので、動かない機種があった場合にはご連絡ください。また、ご協力していただけるのでございましたら、パソコン・キーボード、ご購入後の変換器を、クラシックPC救済委員会まで送って頂けないでしょうか。大事に大事に取り扱わせていただき、開発完了後には対応した変換器と本体をユーザー様に送らせて頂きます。よろしく願います(下の項目をご覧ください)。もちろん返品も可能です。

動作確認機種あるいは、その機種に非常に近いにも関わらず動作しない場合には初期不良の可能性が考えられます。厳密な動作チェック後に出荷しておりますが、万が一初期不良の場合には、お手数をお掛けいたしますが、「動かない」という一筆と、ユーザー様のお名前・ご住所・お電話番号を記載した紙を同封していただき、変換器を当方まで着払いでお送り下さい。送付先は下記でございます。

お願い致します!

3 ハードウェア募集しております

クラシックPC救済委員会では「ハードウェアを貸すから作ってくれ!」というご親切な方を大募集しております。ご意見などがございましたら可能な限り製作いたします。当委員会に作らせる方法は簡単です。まず、クラシックPC救済委員会宛てにメールを頂いてからハードウェアと何を作りたいかを書いた紙を送って頂くだけです。壊れていても構いません。開発後に伝票の送り主様宛にハードウェアを送らせて頂きます。

FM-77 対応変換器 (FM-77 にて動作設計) テスト機種
FM-77AV40EX

ATARI マウス対応変換器 (ATARI 機種にて動作設計) テスト機種
MSX2+HB-XV FM-TOWNS FM-77
PC-8801 はマウス対応ソフト未入手のためテスト出来ていません

AT 互換機対応変換器 (全機種にて動作設計) テスト機種
IBM THINKPAD 他自作 PC 数台

Classic PC Rescue Committee

変換器ご使用方法

PS2タイプおよびUSBタイプ共通

ご使用方法は簡単です。順番のお間違えないように接続して頂くことでご使用頂けます

1. 本機コネクタへ、対応しているマウスを接続してください。対応入力機器に関しては本体の裏側に記載しております。
2. パソコン本体の電源をお切りになり、パソコン本体へ本機を接続してください。
3. パソコン本体の電源を入れて頂くことにより、本機および接続したマウスがご使用可能状態となります。

マウスカウント調整機能

※ご注意※マウスホイールのないマウスでは調整機能がご利用いただけません

この変換器はマウスカウント調整機能に対応しています

電源起動時の初期設定では、マウス本来のカウントで動作いたします。マウスホイールを押しながら回転させることにより6段階のカウントの調整を行うことが可能です。

マウスカウント調整方法

マウスホイールを押しながら手前にホイールを回転させることにより、カウントを1/2 1/4 1/8 に設定しマウスの動作を遅くすることができます。また、マウスホイールを押しながらホイールを奥に回転させることにより2倍4倍8倍に設定し、マウスの動作を早くすることが可能です。

困ったときのトラブルシューティング

A 使用状態を確認

本体の電源を入れる前に変換器を接続しましたか? 接続していない場合には本体やソフトウェアが接続を認識していない事があります。

B コネクタの状態を確認

本機がパソコンのコネクタへ接続されていますか? キーボードコネクタをマウスコネクタへ接続していたり、ATARI コネクタと RS232C シリアル通信コネクタを間違えていませんか?

C 電源状態を確認

パソコン本体の電源は入っていますか? 結構うっかりしてしまうポイントですので確認してみてください。

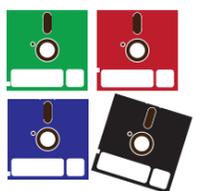
D コネクタのピンを確認

本機のコネクタを覗いて見て下さい。ピンが曲がっていたり、折れていませんか? 曲がっていたら細いドライバーでゆっくりと元に戻してください。ピンが折れていたなら修理のご連絡を頂くかコネクタを交換してみてください。

解決しない場合にはホームページにてお問い合わせ下さい!

<http://classicpc.org/> に入ってお問い合わせをクリック

本機ご使用に関しての規定を必ずお読み下さい



【クラシックPC救済委員会】
郵便番号 226-0002
神奈川県横浜市東本郷 4-19-20 B-202
<http://classicpc.org/>
kobayashi@classicpc.org
担当:小林